

	重点目標	評価の観点	評価：達成度判断基準	達成状況（考察と改善方針等）
1	基礎・基本の確実な定着 ①つけたい力を明確に持った教育計画 ②見通しをもった校内研修と実践の充実 ③基礎学力の定着のシステムの充実	<成果指標> ・ <u>児童アンケートの質問4・5・6の得点が8割を超える。</u>	達成基準＝児童アンケートで全体得点が A：80%以上 (B)：70～80%未満（76%） C：50～70%未満 D：50%未満	今年度よりアンケートの項目を『きれいな字』から『ていねいな字』でノートをとる』に変えたが66%と非常に低い。全校で組織的に取り組んでいきたい。
		<満足度指標> ・ <u>「難しいことや嫌なことでもベストをつくしている」と答える保護者の得点が8割を超える。</u>	達成基準：保護者アンケートで全体得点が A：80点以上 (B)：70～80点未満（76%） C：50～70点未満 D：50点未満	保護者は昨年度より1%高いが児童は9%下がっている。「あいさつNo.1の小木小学校へ」という具体的な取り組みで成果を実感させていきたい。
		<努力指標> ・「研修課題を学年の実態に即して具体的に取り組んでいる」と答える教職員の得点が8割を超える。	達成基準＝教職員アンケートで全体得点が (A)：80点以上（82%） B 70～80点未満 C：50～70点未満 D：50点未満	昨年度と同じ%である。授業改善の努力とその成果を実感しようと、職員が主体的に取り組んでいる。
2	豊かな人間関係作り・社会性の育成 ①道徳の授業の充実 ②児童の心の耕し ③生活指導の充実	<成果指標> ・「いま、学校は楽しい」と答える児童の得点が8割を超える。	達成基準＝児童アンケートで全体得点が (A)：80点以上（84%） B：70～80点未満 C：50～70点未満 D：50点未満	良好であるが、昨年度より低下している。アンテナを高くし、複数の目で児童の変化に気付くことができる集団となりたい。
		<満足度指標> ・「学校ははじめ・不登校のない楽しい学級づくりに努めている」と答える保護者の得点が8割を超える。	達成基準：保護者アンケートで全体得点が (A)：80点以上（84%） B：70～80点未満 C：50～70点未満 D：50点未満	校内研修でも「事実を確認する」「気持ちを否定しない」など具体的な対応について確認したことを共通で実施していく。
		<努力指標> ・「子どもの不安や悩みを理解し、個に応じた指導に取り組んでいる。」と答える教職員の得点が8割を超える。	達成基準＝教職員アンケートで全体得点が (A)：80点以上（88%） B：70～80点未満 C：50～70点未満 D：50点未満	児童理解の会では、自分の立場でどのように働きかけるか、「行動」まで確認し、共通行動している成果であり、今後も継続していく。

3	保護者・地域に信頼される学校作り ①開かれた学校 ②情報の公開 ③指導力の向上 ④教育公務員としての自覚	<成果指標> ・「学校は、子どもの事について気軽に相談できる」と答える保護者の得点が8割を超える。	達成基準：保護者アンケートで全体得点が (A)：80点以上（84%） B：70～80点未満 C：50～70点未満 D：50点未満	児童アンケートで「先生が話を聞いてくれる」が95%と高い。児童の満足感が保護者にも伝わっているものと思われる。今後も継続していく。
		<満足度指標> ・「教育方針や子どもの様子が学校・学級だよりやホームページ等で分かる」と答える保護者の得点が8割を超える。	達成基準：保護者アンケートで全体得点が (A)：80点以上（83%） B：70～80点未満 C：50～70点未満 D：50点未満	学校評価の保護者の要望として再三学校HPの更新が挙げられていた。昨年度に引き続きほぼ毎日更新しているが、今後も継続していく。
		<努力指標> ・「学級だよりで、学級経営方針や児童の様子を保護者に知らせている」と答える教職員の得点が8割を超える。	達成基準＝教職員アンケートで全体得点が (A)：80点以上（96%） B：70～80点未満 C：50～70点未満 D：50点未満	数字が示すように学級だよりは充実している。学級での児童の良い変容を伝えるツールとしていきたい。
		<努力指標> ・「地域の人材や素材を活用した授業を取り入れている」と答える教職員の得点が8割を超える。	達成基準＝教職員アンケートで全体得点が (A)：80点以上（93%） B：70～80点未満 C：50～70点未満 D：50点未満	海洋教育が順調に進められている指標である。今後も継続して生きたい。
4	プロとしての自分を磨き、子どもに関わりきる教職員 ①健康安全活動の充実 ②体力の向上	<成果指標> ・「指導計画に基づいて、教材教具を適切に整備・管理・活用している」と答える教職員の得点が8割を超える。	達成基準＝教職員アンケートで全体得点が (A)：80点以上（89%） B：70～80点未満 C：50～70点未満 D：50点未満	良好である。GIGA スクールの推進と連動させていきたい。
		<満足度指標> ・「学校は、安全・快適な環境づくりに努力している」と答える保護者の得点が8割を超える。	達成基準：保護者アンケートで全体得点が (A)：80点以上（82%） B：70～80点未満 C：50～70点未満 D：50点未満	新しい生活様式の確立に向けて、本校が長年育んできた自問清掃、整列しての教室移動などの規律の徹底を図っていく。
		<努力指標> ・「学級経営目標や取り組みは、具体的で評価できる内容になっている。」と答える教職員の得点が8割を超える。	達成基準＝教職員アンケートで全体得点が (A)：80点以上（86%） B：70～80点未満 C：50～70点未満 D：50点未満	良好である。今後も全校での取り組みも共通で取り組むことを絞って徹底していきたい。

5	多忙化改善・業務の効率化 ①働き方改革の意識 ②業務の効率化の推進	<p><成果指標></p> <p>・「自分の業務に見通しを持ち兼ねや時間を意識して取り組んでいる」と答える教職員の得点が 8 割を超える。</p>	<p>達成基準＝教職員アンケートで全体得点が</p> <p>Ⓐ：80点以上（93%） B：70～80点未満 C：50～70点未満 D：50点未満</p>	<p>1 学期は提出物など〆切を守ろうとする意識が見られた。退校時間を自己申告するシステムを根付かせていきたい。</p>
		<p><満足度指標></p> <p>・「業務改善を意識し、業務の効率化を図るための工夫をしている」と答える教職員の得点が 8 割を超える。</p>	<p>達成基準：教職員アンケートで全体得点が</p> <p>Ⓐ：80点以上（83%） B：70～80点未満 C：50～70点未満 D：50点未満</p>	<p>取組の削減は学校経営方針の柱である。目的を常に考えて業務にあたるのが、見直しをする際に大切である。</p>
		<p><努力指標></p> <p>・「効率的に業務を行うために、身辺（机まわり）を整理整頓し共有物の扱いにも気を配っている」と答える教職員が 8 割を超える。</p>	<p>達成基準＝教職員アンケートで全体得点が</p> <p>Ⓐ：80点以上（93%） B：70～80点未満 C：50～70点未満 D：50点未満</p>	<p>2 学期は整理整頓に取り組む。きれいになっていることを実感することで自分のよさに気づくためである。職員も同様に後片付けの徹底を心掛けたい。</p>

斜体字及び下線部は昨年度と変更部分